

# 村議会だより



■主な内容

9月定例会の審議案件等

一般質問

議会のうごき

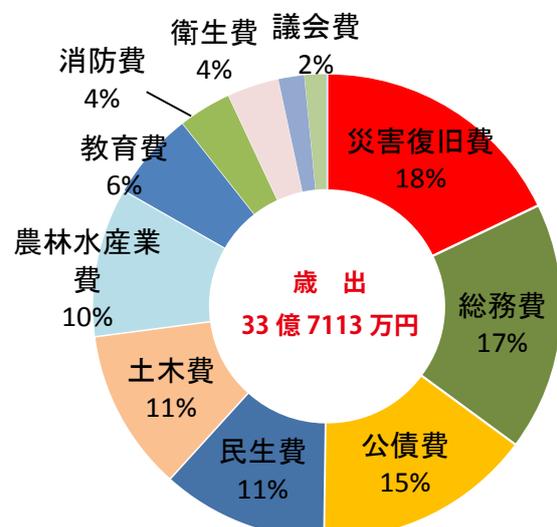
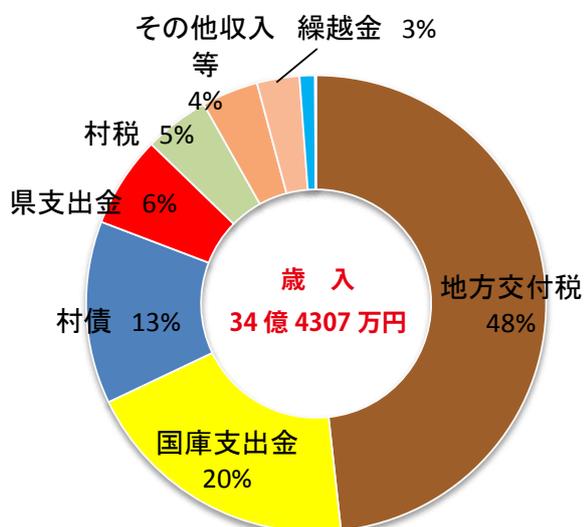


村民体育大会【10月19日（日）】

## 平成26年 第3回（9月）定例会で審議された案件

議案番号	議案名	議決結果
議案第 32 号	平成 26 年度宇検村一般会計補正予算について	可決
議案第 33 号	平成 26 年度宇検村国保事業特別会計補正予算について	可決
議案第 34 号	平成 26 年度宇検村簡易水道事業特別会計補正予算について	可決
議案第 35 号	平成 26 年度宇検村農業集落排水事業特別会計補正予算について	可決
議案第 36 号	平成 26 年度宇検村漁港漁村集落排水事業特別会計補正予算について	可決
議案第 37 号	平成 26 年度宇検村介護保険事業特別会計補正予算について	可決
議案第 38 号	平成 26 年度宇検村後期高齢者医療事業特別会計補正予算について	可決
認定第 1 号	平成 25 年度宇検村一般会計歳入歳出決算について	認定
認定第 2 号	平成 25 年度宇検村国保事業特別会計歳入歳出決算について	認定
認定第 3 号	平成 25 年度宇検村国保施設事業特別会計歳入歳出決算について	認定
認定第 4 号	平成 25 年度宇検村簡易水道事業特別会計歳入歳出決算について	認定
認定第 5 号	平成 25 年度宇検村農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算について	認定
認定第 6 号	平成 25 年度宇検村漁港漁村集落排水事業特別会計歳入歳出決算について	認定
認定第 7 号	平成 25 年度宇検村介護保険事業特別会計歳入歳出決算について	認定
認定第 8 号	平成 25 年度宇検村後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算について	認定
議案第 39 号	宇検村乳幼児医療費助成条例の一部を改正する条例について	可決
議案第 40 号	宇検村報酬及び費用弁償条例の一部を改正する条例について	可決
議案第 41 号	宇検辺地総合整備計画の一部変更について	可決

## 平成 2 5 年度一般会計決算状況



## 平成25年度宇検村一般会計・特別会計決算審査報告

### 《審査の概要》

9/16～18までの3日間にわたり、一般会計及び7特別会計の歳入歳出決算状況について審査を行った。住民の税収を財源とし住民の福祉向上の為に単年度にどれ程の行政効果・経済効果をもたらしたかを重点に審査を行った結果、貴重な自主財源の村税の減額、税収も未済額が増加傾向にある。歳入決算に於いて一般会計及び7特別会計の収入未済総額は22,859,871円と多額で深刻な状況であるが、前年度より減額しており悪質な納税者には状況確認と厳しい対応で臨んでいる努力がうかがえる。



決算審査特別委員会  
委員長 松井 辰夫

#### (1) 一般会計について

歳入決算額 3,443,070 千円、歳出決算額 3,371,139 千円で差引額 71,931 千円が翌年度への繰越金、歳入の内訳は、自主財源 400,078 千円で 11.6%、依存財源 3,042,992 千円で 88.4%である。財源比率に於いては自主財源が乏しい状況にあり、より一層の自主財源確保のための取組を望む。

#### (2) 国保事業特別会計について

歳入決算額 385,673 千円、歳出決算額 377,841 千円で、国保財政は高齢化社会を背景に医療保険の諸情勢は益々厳しく、税の徴収率は 81.6%で 18.4%の収入未納がある。滞納者については、法に基づき資格証明書、保険証の短期発行を実施、又、悪質なものについては厳正に対応している。

その他 6 特別会計についても独立採算の原則の下に努力している状況は伺えるが、依然として一般会計からの繰入金が多く、本体である一般会計の財政を圧迫している現状が大きな課題である。

### 《意見・質疑》

- 工事における契約の際、業者との協議、現場における指導を徹底すること。
- 農業集落排水事業、漁港漁村集落排水事業において加入率が乏しく、加入率増加に向けた取り組みを具体的に考えるべき。
- 住宅使用料及び水道使用料滞納者については、状況確認を行い、明け渡し請求や水道停止等の厳しい対応をするべき。
- 世界自然遺産登録を見据え、野ネコやノラネコへの対策の強化が必要。



### 《審査の結果》

平成 25 年度予算は概ね初期の目的に沿って執行されたと評価できる。

経常収支比率は 88.1% 実質公債費比率は 13.8% 将来負担率は 16.0%と前年度より改善されてはいるが、尚一層の努力を切望する。

又、一般会計及び7特別会計の起債残高合計 4,684,642 千円となっており、これは財政の弾力化、健全化に向け今後、更なる行財政改革の持続的な努力と自主財源確保のための施策が必要な当面の課題と言える。

決算審査特別委員会に付託された平成 25 年度宇検村一般会計及び 7 特別会計事業の決算を全会一致で認定すべきものと決定した。村執行部は本特別委員会の指摘と提言を真摯に受け止め、担当課に関係なく職員一人一人が問題意識をもって財政の改善に取り組む事を強く要望する。

# 一般質問 村政を問う

## 農業担当職員の育成や増員は ／庁内組織の見直しも必要



元山 公知 議員

員配置を考える必要がある。

(元山) 防風対策は農業において大変重要である。耕作放棄地に防風林の植栽はできないか。

(元山) 農家とのコミュニケーションを図り、信頼関係を築くことが農業振興に繋がると考えるが、職員は巡回や営農指導をどう行っているか。

(村長) 職員2人で対応している。

(元山) 農家から「職員があまり顔を見せなくなつた」という声もあり、住民サービス低下は課の統廃合も一因ではないか。

(村長) 職員の研修、専門職員の配置をしないと農業振興はありえないと考え。庁内組織の見直しと職

(建経課長) 具体的にはまだ進んでいない。まず阿

室校区の活性化委員会等と計画を練り、来年の当初予算に計上できればと考えている。

(元山) 地域の活性化、災害時の炊き出し等の観点から計画すべきではないか。

(村長) 地域によってニーズが違うと思うので、地域の考えをしっかりと捉えて計画したい。

(元山) CASシステムを、使用料を設定して多くの方々に活用させるべきではないか。

(村長) いろんな企業に声掛けをしている。いいシステムだが、採算の合う商品がないということを利用していい。

### うけん市場の運営状況について

(元山) うけん市場の運

(元山) 村民の要望に柔軟に対応できるよう、指定管理者制度や委託契約の運営は。

(村長) 元気の出る公社や、オーナー制度等の事業を総合的に考えて取り組んでいきたい。

(元山) 宇検村の観光案内の拠点とする考えは。(村長) 情報発信は重要である。人材育成が必要だと思うので、しっかり取り組んでいきたい。



人口減による地方交付税の減額は  
約3600万円減になる



佐々木 一字 議員

(佐々木) 平成22年の人口が1932名、平成27年度は1800名を下回ることが予測されるが、人口減による地方交付税の減額はどれほどになるのか。また人口減の対策は考えているか。

(村 長) 平成26年度の普通交付税算定様式で、1800人で算定すると約3600万円の減額になる。人口減少に歯止めをかけるため、村内企業への若者の就職促進を進め、若者の定住と婚姻数、出生数を増やすことが重要だと考え

る。

(佐々木) 第5次振興計画の人口対策について「奄美大島内の市町村と連携した取り組み」とあるが具体的な取り組みは。

(総企課長) 大島広域事務組合で、戦略ビジョンを策定した。



(佐々木) 本村独自の産業振興による雇用の創出とある、具体的な取り組みの状況・成果は。

(総企課長) 山村留学のように、できることから地道

にやっっていく。

(佐々木) 農業政策は国の施策であり、農林水産業、観光業が柱だと考えるが、本村の成長産業をどう考えるか。

(村 長) 村全体を見直し、農林水産業の育成、観光にも取り組む必要がある。



財政の見直しについて

(佐々木) 地方交付税の先行き不透明な中で、多くの市町村が改革に取り組んでいるが、宇検村の改革の状況は。

(村 長) 公債費負担適正化計画に沿って地方債の借り入れを抑制し、また繰り上げ償還を行い改善が図られている。

(佐々木) 投資的経費の

件費を除く普通建設事業費、単独事業費が平成22年度から半減しているが、その実態と原因は。

(村 長) 財政計画の中で、短期・中期・長期と歳入歳出のバランスをとりながら事業を行っており意図的に建設工事を減らしたわけではない。

(佐々木) 地方分権の時代、行政職員の負担増の中、人員削減でなく職場の統廃合やスキルアップ研修が必要だと考えるが。

(村 長) 行財政改革は継続している中、組織については見直す時期にきていると思うので議論していく。

若者の定住対策について

(佐々木) 雇用の確保は、地域雇用創造推進事業などで今後期待できるが、若者の定住対策はどのように推

進するか。

(村 長) 宇検村にある企業に、若者の就職を促進し定住してもらうことが重要である。奄美U・I・Oタイン支援協議会で広域的な移住の取組も行っている。



阿室に建設された小規模住宅 (空き家対策)

行財政改革の基本的な考えは  
事業の継続と削減



稲澤 紀穂 議員

(稲澤) 行財政改革を進めているが、現在の課・局の整理、統合の考えは。  
(村長) 現在、5課2局であるが、権限移譲に伴い職員の負担も増加しており現時点での課・局の削減はできないと考える。  
(稲澤) 職員の定数と今後の採用計画は。  
(村長) 村職員定数条例は82名、現在（H26・4月）は62名で、行財政改革の一端として平成9年度と比較すると22名を削減している。今後については現状を維持したいと考えている。

(稲澤) 臨時職員の採用が増えていないか。  
(総企課長) 職員の補助事務が的確にできるよう見極めながら採用したい。  
(稲澤) 事務事業の見直しについては。（各種団体への補助金の見直し）  
(村長) 各種団体の事業計画を吟味し、補助金の妥当性を見極め、各種団体の活動に支障が出ないように配慮したい。  
(稲澤) 自主財源の確保と経費削減の取組は。  
(村長) 村税の徴収率は95・1%。保有財産の売却可能財産を検討し自主財源の確保に努めたい。経費削減の取組は課の統廃合による管理職手当、公債費、旅費、需用費等の削減を図る。

(稲澤) 独立採算を原則とする特別会計の根本的対策は。  
(村長) 各会計ごとに精査し経費削減に努め、独立採算に近づけるよう努力したい。

(稲澤) 単独行政として、向こう10年の財政の見通しは。  
(村長) 行財政改革や公債費負担適正化計画により、平成21年度決算から歳入歳出の収支状況が良くなってきた。大きな財源不足に陥ることはなく収支バランスはとれる見込みである。

NPO法人の法的措置について

(稲澤) 平成25年9月定例会において「最終的に私が判断する」と明言しているがその後の判断は。  
(村長) 粛々と状況を見

極めながら、私の判断の中で決めていきたい。

宇検村 決算状況の推移 (財政指標)

	平成 15 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	県平均
人口	2,166	1,930	1,896	1,880	
財政力指数	0.09	0.09	0.09	0.09	0.27
標準財政規模	1,711,042	1,824,158	1,836,907	1,800,242	
経常収支比率	96.7	87.8	89.6	88.1	88.8
実質公債費比率 (3カ年平均)	19.4	15.1	14.2	13.8	11.3
将来負担比率		40.7	23.7	16.0	51.3
地方債現在高	5,511,965	3,626,346	3,528,337	3,519,338	
地方税徴収率	97.9	93.9	94.2	95.1	
ラスパイレス指数	97.0	92.6	92.9	92.8	97.2
職員総数	71	61	61	59	

**財政力指数**…自治体の財政力を示す指標、1.0であれば収支バランスがとれていることを示しており、1.0を上回れば基本的に地方交付税交付金が支給されません。

**経常収支比率**…財政構造の弾力性を示すもの。税金など経常一般財源に占める人件費や公債費などの義務的な支出の割合を表す。

**公債費負担比率**…公債費がどの程度財政を圧迫しているかを示すもの。

法的措置の時期は

／現状を見極め判断する



幸 春美 議員

(幸) 平成25年9月定例会において「時期がくれば法的措置を取る」と明言している、その時期は。

(村 長) 私の任期期間中において行うということに変わりはありません。現状を見極めながら判断し決めます。

(幸) 平成24年9月の定例会において、全体責任を村長も認めた上で、「関係団体でしっかり議論をしてください」という答弁があったが、各団体への話は進めているか。

(総企課長) それぞれでい

つ行うという話は進めていない。

(幸) なぜ雇用促進協議会協議会の会長として各団体に具体的な話をしないのか。

(村 長) それぞれの団体でやるべきことであり、私は言うべきではない。

(幸) 「法的措置は政治生命をかけてやりたい」と明言しているが、どのような決意か。

(村 長) この問題については政治生命をかけて住民に説明をしなければならぬと思っている。まだ住民には説明できていないが、もう一度関係団体で同じレベルにつき、12月にでも住民説明会を持ちたい。

あなたも、議会を傍聴してみませんか。

議会は、村の予算や身近な問題について話し合う大切な場です。ぜひ、傍聴においでください。

- 定員(26名)の範囲内で、どなたでもご自由に傍聴できます。
- 受付簿に住所・氏名を記入していただくだけです。
- 第4回定例会は、12月中旬を予定しております。



追跡 あの質問・提言はどうなった?!

吉永議員：【少子化対策について】

H25・9月議会  
一般質問

中学生以下の医療費完全無料化の考えは。

村 長：財政を見ながら必要に応じて、前向きにやりたい

平成26年9月議会に於いて補正予算が可決され、乳幼児等医療費助成金が支給されるようになりました。

事業の概要

子どもの健康と健やかな育成を図り、保護者の経済的負担を軽減することで、子育て支援、少子化対策の一環とするものです

1. 対象年齢は、0歳～15歳(中学3年生修了時) 3月31日までが対象
2. **医療保険一部負担の全額が助成されます**

乳幼児医療費助成金支給申請について…

お問い合わせ先：宇検村役場保健福祉課乳幼児医療係 TEL 67-2211(内線109)

# 議会のうごき

29日～31日	離島議長振興協議会視察（長崎県志岐市）
29日～30日	郡監査委員協議会研修会（伊仙町）
25日～28日	所管事務調査（東京都・静岡市）
22日	全員協議会・議会だより編集委員会
19日	村民体育大会
17日	例月監査
16日	村誌編纂実行委員会（宇検村）
10月	
26日	最終本会議
25日	高齢者スポーツ大会
24日	全員協議会・常任委員会
22日	金婚式
21日	村内小中学校運動会
17日～19日	決算審査特別委員会
16日	本会議2日目
12日～	第3回定例会
11日	例月監査
9月	
5日	議会運営委員会
12日	例月監査
13日～15日	決算審査（監査委員）
20日～21日	常任委員長研修会（鹿児島市）
28日～29日	議会広報研修会（鹿児島市）
8月	
12日	例月監査

↓所管事務調査（東京都・静岡市）委員長報告等の詳細につきましては次号に掲載いたします



## 議会だよりについてご意見をお聞かせください

議会だよりは定例会ごとに年4回発行し、各世帯に配布しています。内容については、定例会の概要や一般質問の要旨等を掲載していきます。今後も「分かりやすく・親しみやすい」議会だよりの作成を目指し取り組んでいきます!!

皆様からのご意見をお待ちしております☆

【お問い合わせ先】議会だより編集委員会

電話：67-2211 メール：gikaijimukyoku@uken.net

### 【編集後記】

私たち議会は、住民の考えを行政に反映するために多くの問題をきめ細かく審議し、決められた事が正しく実行されているか監視しています。村の法律ともいえるべき条例の制定や改正・廃止すること。村の予算を決定、決算の認定、一定の金額以上の工事や物件の購入契約等について議決を行います。また請願や陳情の受理、そして国や県などに意見書の提出など、住民の生活を支え、力を届ける「協同の村づくり」に取り組んでいます。皆様からのご指摘・情報がありましたら、お寄せいただきますようお願いいたします。また議会の様子を知らせていただくために本会議を傍聴することができます。簡単な手続きで傍聴できますのでお気軽にお越しください。会議の妨げとなるおそれのある方についてはお断りする場合があります。傍聴規程を守り、係員の指示に従って下さるようお願いいたします。

### 議会だより編集委員会

K・S

議長 喜島 孝行

委員長 幸 春美

委員 吉永 常明

委員 佐々木 一守